

協議会開催日	委員属性	委員からの意見 ※対応した意見を記載	対応（反映）状況 ※参考事例を参考とし具体的かつ簡潔に記載
R4.7.1		特になし	
R5.2.1	患者代表	毎々の報告書をいただくと常に改善点を見出されてはよりよい形を作られているように思います。 常々、医療は「病」だけを診ないで患者の「人間」たることを把握していただきたいと申し上げていますが、貴センターは温かさを感じられるのがありがたく市民の皆様を受診をおすすめしています。 老健のワンちゃん面会風景は最高です。 心づくしの医療をいつもありがとうございます。	この度はご意見ありがとうございます。現在新型コロナウイルスの感染は落ち着いておりますが、12月～1月には当院でも老健を含め複数のクラスターが発生し、患者様には大変なご迷惑をおかけしてしまいました。老健では長期入所の方が多くので窓越しに面会ができるよう工夫し、ご家族にも喜んでいただいております。当院は理念にもありますように良質で安全、患者様中心の医療を提供するよう努めております。今後も患者様やご家族に喜んでいただけるよう職員一同努力して参りますので何卒よろしく願いたします。
R5.2.1	学識経験者	今年度は4月～9月は第7波と重なる時期であり、医療機関の逼迫が心配されていましたが、奮闘ぶりがよくわかる報告でした。まだ先が見通せない状況ですが、職員の方々の健康にも配慮しながら、業務の継続をお願いします。 【病院】 PET検査の現症の原因ははっきりしないところもありますが、やはりコロナの影響もあると思います。四日市市の認知症早期診断事業として始められた外来診療の取り組みは今後重要性が増すと思われる。受診者数も重要ですが、認知症の進行を遅らせる成果の可視化が課題になると思います。 【老健】 入所者の家庭環境の変化として具体例が挙げられていますが、いずれも不可抗力に近く、自宅受入れの困難化はやむを得ない面があると思います。季節的利用は利用者にとっても大切なサービスだと思います。第7波の中で一例の感染者も出さなかったことは特筆すべきです。 【訪問看護ステーション】 小児から高齢者まで幅広い年齢の対象者に対して特別管理加算対象処置として高度な対応をされていると思います。訪問看護管理療養費の新設で活動の幅がさらに広がることを期待しています。	この度はご意見ありがとうございます。新型コロナウイルスの感染法上の分類が5月8日から5類になることに伴って、病院での対応も大きく変わることになると思われます。行政からの情報を踏まえてできるだけ患者様に混乱が生じないよう対応をしていきたいと考えております。 PET検査件数減少の原因は新型コロナウイルス感染拡大による受診控えによるものです。コロナ前の2019年より14%のダウンとなっています。 また、認知症に関しては早期発見への取り組みや患者様やご家族のための認知症カフェなどを継続して行っております。今後も行政や各方面と協力しながら早期発見から治療へと進めて参りたいと思います。 老健に関しましては、残念ながら年末から年始にかけて新型コロナウイルスの大規模なクラスターが発生し、利用者の皆様やご家族にご迷惑をおかけしてしまいました。一層の感染対策を講じ、利用者様が安心してご利用いただけるようなサービスを提供して参ります。訪問看護ステーションでは、病院付属のステーションの強みを活かしながら、医療依存度の高い利用者さんの受け入れをしていきたいと考えています。現在、機能強化型訪問看護管理療養費2を取得していますので、地域の住民や近隣の大学での研修なども継続していきたいと思っております。